

令和5年度

運営に関する計画・中間自己評価



令和5年12月12日

大阪市立塩草立葉小学校
学校協議会資料

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、学校教育目標「共に学び、共に生きる子どもを育てる」～自分も人も大切にする～のもと、人権尊重を基盤とした教育活動を推進している。

統合から10年目。児童数は、統合時の241名から510名余りに急増している。中規模校になるにともない、さまざまな業務の見直しを進めていく。

また、増加している渡日児童や特別支援学級在籍児童への支援、多様性教育推進などを通じて、すべての子どもが健やかに成長するよう、全教育活動を通して取り組んでいる。

中期目標(令和4年度から令和7年度までの4年間で達成をめざす成果目標)**【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】**

○大阪市小学校学力経年調査(3～6年、以下 経年調査)における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を75%以上にする。 →R4は、74.8%

○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

→R4は、増減なし

○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

→R4は、増減なし

※前年度不登校であった児童のうち不登校の状態が解消された、または不登校状態であっても次の1～3に該当しているなど、総合的な判断により不登校の状態が改善されたとする人数を把握。

※改善とは、次の状態の場合をいう。(複数に該当する場合、最も顕著な項目を選択する)

1 出席日数の増

(学校内外でICT等を活用した学習活動をする事による出席認定含む)

2 ICTの活用による、本人・保護者と学校がつながった回数が増えた。

3 養護教諭、スクールカウンセラー、教育支援センターなど学校内外の専門的な指導・相談につながるようになった。または、継続してつながるようになった。

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

○大阪市小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を37%以上にする。 →R4は、36.1%

○大阪市小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。

(令和4年度の対全国比)

国語 3年 0.88 4年 0.95 5年 0.96 6年 0.91

算数 3年 1.00 4年 0.98 5年 0.98 6年 1.00

○大阪市小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。 →R4は、82.4%

- 大阪市小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。 →R4は、72.3%
- 大阪市小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を65%以上にする。 →R4は、64.5%

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

- 学習者用端末を活用した学習を週1回以上実施する。
→R4は、各学級で週1回以上実施できた。
- 教員ひとり当たりの月別の時間外勤務時間平均を大阪市平均より減少させる。
→R4は、下の表のとおり達成した

	R4. 4月～R5. 3月(1か月あたり平均時間)	前年度の平均時間
本校	23時間03分	18時間40分
大阪市	27時間07分	

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

- 大阪市小学校学力経年調査（3～6年、以下 経年調査）における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を75%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を37%以上にする。
- 経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- 経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。
- 経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。
- 経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を65%以上にする。

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

- 全学級で、学習者用端末を活用した学習を週1回以上実施する。
- 教員ひとり当たりの月別の時間外勤務時間平均を大阪市平均より減少させる。

3 本年度の自己評価結果の総括

令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

大阪市立塩草立葉小学校

評価基準	A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった	B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
------	--------------------------------------	--

年度目標	達成 状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 全市共通目標（小学校） ○大阪市小学校学力経年調査（3～6年、以下 経年調査）における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を<u>75%以上にする。</u> →R4は、74.8% ○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を<u>前年度より減少させる。</u> ○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 ※前年度不登校であった児童のうち不登校の状態が解消された、または不登校状態であっても次の1～3に該当しているなど、総合的な判断により不登校の状態が改善されたとする人数を把握。 ※改善とは、次の状態の場合をいう。（複数該当の場合、最も顕著な項目を選択する） 1 出席日数の増 （学校内外でICT等を活用した学習活動を行うことによる出席認定含む） 2 ICTの活用による、本人・保護者と学校がつながった回数が増えた。 3 養護教諭、スクールカウンセラー、教育支援センターなど学校内外の専門的な指導・相談につながるようになった。または、継続してつながるようになった	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 ○いじめの未然防止と早期発見、早期対応をすすめる。	B
指標 ・5月「いじめ（いのち）について考える日」に、全学級でいじめ防止に取り組む。 ・いじめ事象を共有し、解決に向けて組織的に取り組む。 ・学期に1回以上、全学級でいじめについて実態調査を行い、早期発見に努める。	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 ○不登校傾向のある児童の早期発見、早期対応をすすめる。	B
指標 ・不登校事象を共有し、解決に向けて組織的に取り組む。 ・区役所（子育て支援）やこども相談センター、民生委員・児童委員、SC、SSWなど関係機関との連携をすすめる。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
取組内容① ・指標に沿って計画的に取り組んでいる。 ・月に1度の子どもの共有で、全学年児童の実態を全教員が把握し対応にあたっている。 ・チーム学年・チーム学校で対応。 取組内容② ・指標に沿って組織的に取り組むことができている。 ・毎月、不登校傾向などの情報共有を職員全体で行っている。 ・学年全体でつねに共有し、連絡をとったり家庭訪問を行ったりしている。チーム学校で対応。また必要に応じてSC とつなぎ、連携をとっている。他にも ICT を活用し、オンラインでの参加なども行っている。 ・ミマモルメを活用するなど、連絡がない児童の欠席に早急に対応できている。 ・つながりは継続しているが、改善は見られない。 ・休み明けや欠席した次の日には個別で声かけするなど、学校に来やすい雰囲気作りを心がけている。
次年度への改善点
取組内容① ・引き続き取り組んでいく。 ・適材適所でアプローチ。担任だけが抱えるのではなく、チーム学校で取り組む。 ・保護者対応含めて一貫した対応。 ・常に子どもたちと考え、いじめを許さない気持ちの共有をしていく。 取組内容② ・引き続き取り組んでいく。 ・常に連絡を取るよう心がけ、登校渋りに早期に気づき対応できるようにする。 ・子どもの共有で担当からもっと話してもらい、情報をしっかり細かく共有。 ・家庭に踏み込むには限界があるため、今よりもっと外部機関に頼る必要がある。 ・連携のすすめ方や、連携の先のことを知れる機会をつくってほしい。 ・不登校児童またはその傾向にある児童が増え、その理由も多様化しているので、担任が対応するのにも限界がある。様々な先生がかかわるようにする。また、校務分掌で不登校対応職員を明確に位置付け、初期対応から支援方法までのフローチャート等を作成する。 ・登校せずとも居場所、つながりのある学校・クラスづくりを考えていく必要がある。

令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

大阪市立塩草立葉小学校

評価基準	A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった	B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
------	--------------------------------------	--

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 全市共通目標（小学校） ○経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を<u>37%以上にする。</u> →R4は、36.1% ○経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も<u>0.01ポイント向上させる。</u> R4の対全国比 国語 3年 0.88 4年 0.95 5年 0.96 6年 0.91 算数 3年 1.00 4年 0.98 5年 0.98 6年 1.00 ○経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を<u>83%以上にする。</u> →R4は、82.4% ○経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を<u>73%以上にする。</u> →R4は、72.3% ○経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を<u>65%以上にする。</u> →R4は、64.5%	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加】 ○自分の思いや考えを表現する子どもを育てる。	B
指標 ・全学級で、話し合い活動を <u>1日1回以上実施する。</u>	
取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加】 ○教員の指導力向上をすすめる。 ○浪速区学習意欲向上推進事業（漢字検定支援）を活用する。	B
指標 ・全教員が年1回以上公開授業を行う。 ・6年で漢字検定を行う。（目標：合格率65%以上）	
取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加】 ○外国語（英語）の学習に親しむ機会を設ける。	B
指標 ・C-NET【大阪市外国語（英語）指導員】と連携した授業をすすめる。	
取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】 ○運動に親しむ機会を設ける。	B
指標 ・体力向上に関する取り組みを行う。（シナプスロジーなど） ・外部講師による特別授業を行う。（「夢・授業」や出前授業など） ・区役所教育活動支援事業予算を活用する。（ライトドッジボール、ドッチビー購入）	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
取組内容① ・学習の場の様々な所（導入・展開・まとめ）でペア・グループ・全体で話し合う時間を取り入れている。 取組内容② ・研究授業、公開授業、研修を計画的に行っている。 ・漢検は、1月26日に6年生で実施予定。（浪速区学習意欲向上推進事業） 取組内容③ ・C-NET、モジュールなど計画的に実施している。 取組内容④ ・シナプソロジーの研修を行い、シナプソロジーに取り組んでいる学年が増えている。 ・体力向上のために、休み時間の過ごし方の工夫をしたり、体育の授業において、運動に意欲的に取り組めるようワークシートの活用を行ったりしている。 ・出前授業で、外部講師による授業を受け楽しんで運動に取り組むことができた。また、今後予定している学年もある。 ・区役所教育活動支援事業予算（ライトドッジボール、ドッチビー193,600円）を活用した。
次年度への改善点
取組内容① ・継続して行う。 取組内容② ・漢検の学年、また実施の方法など検討していく。 取組内容③ ・C-NETの授業を低学年にもという声もあるが、3～6年生でもまだ少ないと感じているところもあるので、年間でしっかり取り組めるよう計画していく。 取組内容④ ・シナプソロジーを取り入れるための動画を活用していく。 ・夢授業や出前授業などをいろんな学年で、活用していく。 ・シナプソロジーを取り入れることが体力向上につながるとはいえない。来年度の指標の検討をする。（継続することで運動能力が向上し、体力向上にもつながってくる。）

令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

大阪市立塩草立葉小学校

評価基準	A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった	B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
------	--------------------------------------	--

年度目標	達成 状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 全市共通目標（小学校） ○学習者用端末を活用した学習を週1回以上実施する。 ○教員ひとり当たりの月別の時間外勤務時間平均を大阪市平均より減少させる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション） ○学習者用端末に親しむ機会を設ける。 指標 ・デジタル教材の活用をすすめる。	B
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ○教員の過重労働を抑制する。 指標 ・業務内容の改善、見直しを進める。 ・ゆとりの日を週1回設ける。	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
取組内容① ・学習に利用できている⇔できていない(1年生多め) ・プロジェクターが劣化している状況を改善する。 ・児童用P Cの予備機を拡充する。 取組内容② ・分掌による業務の偏り ・ゆとりの日が機能している。 ⇔ゆとりの日はあるが、持ち帰るので労働時間としては変わらない。 ・ゆとりの日に研修や会議が設定されることある。
次年度への改善点
取組内容① ・情報モラルの学習を学級で行う。 ・各学年でどこまで使えたら良いか計画や目標を設定 →P Cの使用頻度アップのため、各学期でP Cを使った学習単元のアンケートをとって事例収集をして全体に共有を行う。 ・ネット環境の整備をしてほしい。 ・大型モニターを順次導入する。 ・予備機の剰余分が少ない。 取組内容② ・ゆとりの日に会議や研修を入れないように組む。 ・勤務時間の根本的見直し(朝や休憩時間) ・会議時間の短縮

2023（令和5）年度 人権教育の取り組み（予定）

「ともに学び、ともに生きる子どもを育てる」～自分も人も大切にする～

塩草立葉小学校 人権教育部

【1】人権教育推進体制の組織

- 人権教育部（校務分掌）
- 人権教育推進委員会（学校長、教頭、同和教育主担、教務主任、生活指導部長、外国人教育主担、特別支援教育主任、各学年）
 - ・人権教育教材集・資料、人権教育読本「にんげん」の実践、授業研究
 - ・人権・同和教育の推進
- 浪速人権・同和教育推進協議会（同推協）
 - ・学習部会（教育内容部会、歴史部会、保幼小中支援連携部会）
 - ・新転任同和問題研修会（年5回）

【2】人権教育の内容

- 集団育成に関する事項
 - ・学年・異学年間の学年での集団育成活動
 - ・たてわり活動→児童集会、つながりフェスタ、進級・卒業お祝い集会
 - ・保、幼、小、中との交流活動
 - 幼稚園・保育所との交流（昔遊び1年生、前年度はなし）
 - 難波中、栄小交流（6年生）なにわ子ども人権文化祭
 - ・地区子ども会（集団登校・下校）
 - ・フレンズ・カップ・オブ・ナニワ（R5年度より再開）
 - バレーボール、ドッジボール（3～6年生の希望者）
 - チーム編成から当日まで何度か放課後に練習する。
- 部落問題学習に関する事項
 - ・太鼓正の見学、「塩草立葉のリズム」練習 4年生（11～12月）
- 特別支援教育に関する事項
 - ・府立難波支援学校との交流 →地域連携 作品展見学
 - ・障がい理解への取り組み（ゲストティーチャーを招いて）
 - 盲導犬学習 3年生、車いす体験 4年生、アイマスク体験 5年生など
 - ・特別支援学級児童の学力保障
 - ・特別支援学級以外の配慮を要する児童への支援
- 外国人教育、国際理解、多文化共生に関する事項
 - ・となりの国の学習（民族講師を招いての学習） 全学年
 - ・多文化理解への取り組み
 - ・国際クラブ（学期1回）外国につながるのある児童に声かけ
 - ・中央ブロック子ども民族交流会（7月）
 - ・中国語弁論大会（10月）
 - ・渡日児童への日本語指導ならびに支援
(センター校通級、市教委から指導協力員の派遣、必要に応じて個別指導)

- 平和教育に関する事項
 - ・人権・平和学習強調月間 6月第1週～7月第1週 全学年
 - ・人権・平和の集い 7月6日（水） 全学年
- 性教育に関する事項
 - ・性教育年間計画に基づいた学習実施
- 学力保障の取り組みについて
 - ・子どもの実態に応じた複数教員によるきめ細かい指導
 - ・1～6年生の朝学習
- 人権ポスター（平和 5年）
 - ・浪速区で人権展開催の場合は、全学年

【3】人権研修・地域連携

- 人権・同和教育の研究・研修
- 各学年による人権教育実践報告会
- 「子どもの様子」報告 毎月職員会議後
- 特別支援教育全体会
- 外国にルーツをもつ児童の実態把握（その都度内容更新）
- 大阪市人権教育研究協議会（市人教）の活動参加
 - ・市人教大会・分科会報告 6月23日（金）・24日（土）
 - 本校から毎年実践報告を発表（1事例）
 - 他校の取り組みに学ぶ
 - ・市人教夏期研究会 7月31日（月）住吉小学校
 - ・浪速区人権教育講演会 9月13日（水）区民センター
 - ・浪速区人権教育公開授業 12月
 - ・浪速区人権教育実践交流会 1月17日（水）木津中
- 浪速人権・同和教育推進協議会（同推協）
 - ・各専門部会の研修会、新転任同和問題研修会
- 浪速読み書き教室のボランティア講師 毎週金曜日 午後7時～9時
- フレンズ・カップ・オブ・ナニワ R5より再開 11月5日（日）難波支援学校にて
- 第54回部落解放・人権夏期講座：高野山 8月24日（木）25日（金）
- 全国人権・同和教育研究大会
 - 11月25日（土）26日（日） 大阪市・大阪府・京都府・兵庫県
- 浪速地区人権・同和教育研究集会（隔年） R6年1月実施予定
- なにわ人権教育ネットワーク（人権ネット）の活動参加
 - ・講演会「区民の夕べ」 8月
- 4区（浪速・西・港・大正）合同人権展 12月 西区で実施予定
 - ・2022年度は、港区で実施。2021年度は、浪速区で実施。
 - ・児童の作品展示（ポスター・標語など）

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、オンライン開催や延期、縮小、中止になる場合があります。